

3人に1人が「採用後、1年以内に離職」 上越市が介護労働実態調査結果概要を発表

去る3月10日の市議会厚生常任委員会（矢野学委員長）で「介護労働実態調査」の報告が行われましたが、このたびはまとめの小冊子が議員に配布されました。この調査は財団法人介護労働安定センターによる全国調査に準ずる形で上越市が独自にすすめてきたものです。市町村での独自調査はめずらしく、県内では初の調査となりました。

以下主な調査結果です。介護職員の正社員で離職した人の勤務年数は、「採用後1年未満」が31・9%、「採用後1年以上3年未満」が45・7%。全国調査結果よりも「採用後1年未満」は少なかつたものの、「採用後1年以上3年未満」が全国よりも大きく上回りました。

田紀夫氏が選出されまし

介護職員の平均月収は18万8500円（全国平均は17万9000円）でした。「仕事の内容のわりに賃金が低い」と回答した人は全国平均よりも10ポイントほど高い58・2%にもなりました。

今回の調査結果は上越市のホームページなどで報告書全文が公開されています。この調査の契機となったのは橋爪議員の一般質問です。一昨年12月議会会で木浦市長が実施されました実態調査項目を参考にしながら、介護保険法で指定された市内の介護サービス事業所を対象とした実態調査の実施について前向きに検討させていたただきたい」と約束していたもので

今回の調査の対象となったのは、市内で介護保険サービス事業を運営する77事業者と市が抽出した介護サービスに所属する介護労働者（各事業所につき3人、合計288

以下主な調査結果です。介護職員の正社員で離職した人の勤務年数は、「採用後1年未満」が31・9%、「採用後1年以上3年未満」が45・7%。全国調査結果よりも「採用後1年未満」は少なかつたものの、「採用後1年以上3年未満」が全国よりも大きく上回りました。

田紀夫氏が選出されまし

「地域資源、歴史と文化あふれる故郷・在来線を守り、愛する地域・故郷の振興をはかろう」を合言葉に、「在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会」が略称「直江津・頸城の会」が発足し、設立総会が4月19日（日）午後2時から、レインボーセンターで開かれました。

田紀夫氏が選出されまし

田紀夫氏が選出されまし

在来線と地域のあり方を考える

直江津・頸城の会 発足

「地域資源、歴史と文化あふれる故郷・在来線を守り、愛する地域・故郷の振興をはかろう」を合言葉に、「在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会」が略称「直江津・頸城の会」が発足し、設立総会が4月19日（日）午後2時から、レインボーセンターで開かれました。

田紀夫氏が選出されまし

田紀夫氏が選出されまし

日本共産党議員団からは上野公悦議員と平良木哲也議員が参加しました。

田紀夫氏が選出されまし

田紀夫氏が選出されまし

すでに糸魚川市、妙高市で自主的な住民組織が立ち上げられて、在来線（北陸本線・信越本線・大糸線）を守る運動と合わせ、地域の魅力の再発見と創出など工夫をこらした活動が行われてきました。

田紀夫氏が選出されまし

田紀夫氏が選出されまし

鉄道のみならず、信越本線と北陸本線、ほくほく線の連絡駅を持つ直江津で住民組織が立ち上がったことはきわめて重要です。今後の運動を進めていく要の組織となりま

田紀夫氏が選出されまし

田紀夫氏が選出されまし

た糸魚川、妙高両市の住民組



仲田紀夫氏を会長に選出...役員紹介

働く上での悩み、不安、不満等 ()内は全国調査結果

仕事の内容のわりに賃金が低い	58.2% (49.4%)
精神的にきつい	40.8% (35.7%)
休暇が少ない・休暇が取りにくい	36.7% (30.6%)
業務に対する社会的評価が低い	36.7% (38.4%)

日本共産党上越市議員団ニュース

No.179 2009年4月26日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木哲也 525-9096 (上中田)